

日清製粉グループ 第1四半期連結決算、通期連結業績予想

[平成20年3月期第1四半期連結決算]

価格改定の取組みに着手。

株式会社日清製粉グループ本社（社長 長谷川浩嗣）の平成20年3月期第1四半期につきましては、厳しい販売競争が継続する中、各事業において新製品投入やシェアアップを図り、売上げを拡大するとともに、更なるコストダウンに取り組んでまいりました。また、本年4月には外国産小麦売渡価格が平均1.3%値上がりしたため、小麦粉の価格改定を行いました。外国産小麦以外の原材料や商品等の調達コストも相場の高騰や円安により上昇し、コストダウンでは吸収できない水準に達しており、各事業において減益の主因となっていることから、適正な利益を確保するため、価格改定に向けての取組みに着手いたしました。

この結果、第1四半期の業績は、売上高は1,062億43百万円(前年同期比101.5%)と増収になりましたが、営業利益は40億72百万円(前年同期比89.5%)と、主として調達コストの上昇と販売条件の悪化により減益となりました。経常利益は営業外損益の改善により56億22百万円(前年同期比99.0%)と前年同期並みとなり、四半期純利益は遊休土地の売却による特別利益の計上により31億36百万円(前年同期比110.6%)と増益となりました。

[平成20年3月期通期連結業績予想]

上期をボトムとし業績を回復基調に戻すべく取組みを進める。業績予想は当初予定通り。

当初予想通り第1四半期は前期に比べ収益は厳しい状況になっておりますが、本年度上期をボトムとして業績を回復基調に戻すべく、取組みを進めてまいります。国内においては、一層のシェアアップ、次世代新製品開発のスピードアップ並びにコストダウンを図るとともに、調達コストに見合った適正な利益の確保を図ってまいります。また、海外においては、北米、東南アジア、中国でコスト面、販売面の競争力強化を図ってまいります。

以上により、平成20年3月期の連結業績予想につきましては、5月公表の予想通り、売上高は4,300億円、営業利益は190億円、経常利益は226億円、当期純利益は120億円としております。

以 上